

株式会社イズミカンコ

経験と技術、
アイデアで不可能を可能に企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術

主力の高周波ウェルダー機

業務内

国内ユーザーの
高付加価値ニーズに対応

フィルムを溶着する高周波ウェルダー機の製造・販売を手がける。高周波ウェルダー機は外部熱を使う熱溶着と異なり、内部からの均一な加熱で素材同士を分子レベルでつなぎ、高強度に溶着する。熱の影響も最小限に抑え、樹脂の糸引きや焦げ付きがなく美しく仕上げられる。単純な溶着加工は中国や東南アジアに生産がシフトしてしまっただが、国内でも特殊素材を用いた高付加価値製品の生産は活発。自動化や大型化した高機能設備を求めるユーザーの声に答え、オーダーメイドの機械を送り出している。



ウェルダー機を用いた特殊フィルム加工品

強み
自由な発想で
新素材に挑戦

南條広志社長は高周波業界に携わって40年。「既成概念にとらわれず、自由に作りたい」との思いで起業した。このため手がける製品は他社の機械でうまく溶着できない特殊フィルムに対応するものが多い。ダイオキシン問題がクローズアップされたときに普及を始めたオレフィン系フィルムは従来のウェルダー機では溶着できなかったが、南條社長が「企業秘密」という実験機を駆使し、独自の温度コントロール技術を考案、これを可能にした。最近でも有毒ガスを通さないエチレン・ビニルアルコール共重合樹脂（EVOH）フィ

人材
育成

次世代を育てる

ルムの溶着に成功。工業用手袋の生産設備に採用され、海外市場を狙う高付加価値製品を生み出す一端を担った。

今後の
展望
生産性の高い加工技術を
多くの業種へ

高周波ウェルダー機は自動車、文具、化粧品、医療、建築、服飾など多岐にわたる分野で使われており、誰もが目にするヒット商品の製造をも担っている。活用方法は各業界でさまざまだが、多くの受注実績から社内にはより生産効率の高い機械を作るノウハウがある。そして、この点を強くアピールし、新市場開拓を目指す。平成26年度末には、大阪府中小企業高度ビジネス支援センターの支援で自社ホームページも立ち上げた。南條社長は「今までは受け身の営業だったが、前に出て与えられる課題を増やしていく」と力を込める。

COMPANY PROFILE

株式会社イズミカンコ

大阪
27当社の
歴史

高周波機械メーカーに技術営業として勤務した後、平成元年に「イズミメンテナンスサービス」として創業しました。平成9年にオレフィン系フィルムの溶着に取り組み、この溶着方法で特許を取得。機械製造を開始し、これを機に本社を置く大阪府和泉市と妻の名にちなみ、社名を「イズミカンコ」としました。

特殊素材を溶着するウェルダー機の製造を得意とし、自社製設備を活用した文具や日用品の生産も手がけています。

取締役社長 南條 広志さん



■主な事業内容

高周波ウェルダー機の製造・販売、化成品の製造・販売

■主な取引先（納入先）

文具用品メーカー、超音波機械メーカー、日用雑貨品メーカー

住所／〒594-0004
和泉市王寺町
437-1

TEL／0725-45-3700
FAX／0725-45-3701

創業／平成元年6月
設立／平成13年1月
資本金／300万円
従業員／11名

<http://izumi-kanko.com/>